

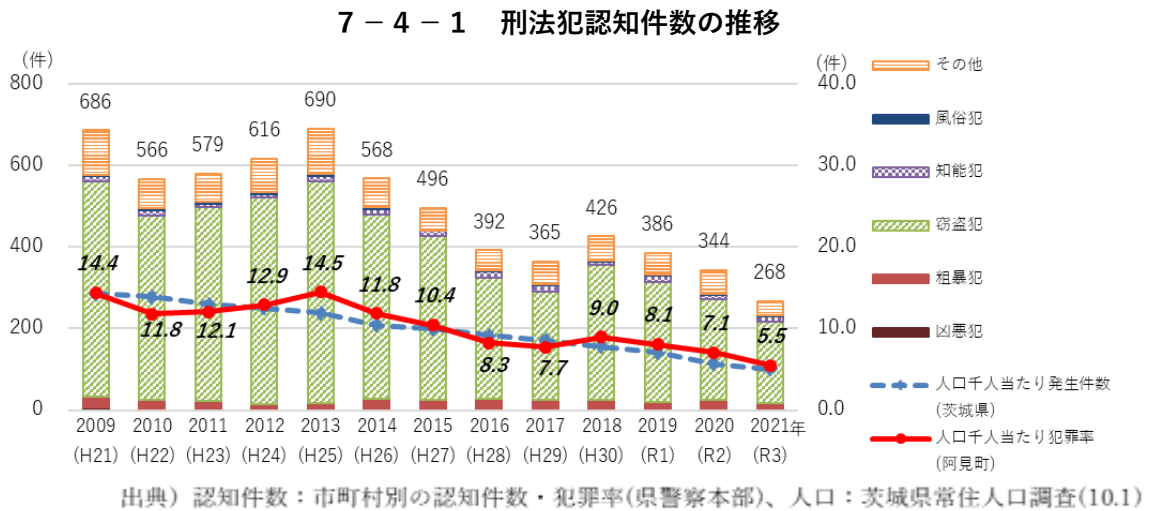
当日資料

第1回審議会でのご質問に対する回答

○ご質問

【現状分析】

刑法犯認知件数が減少しているというデータがあるが、肌感覚として不法投棄が増えていると思う。実際はどうか。



○回答

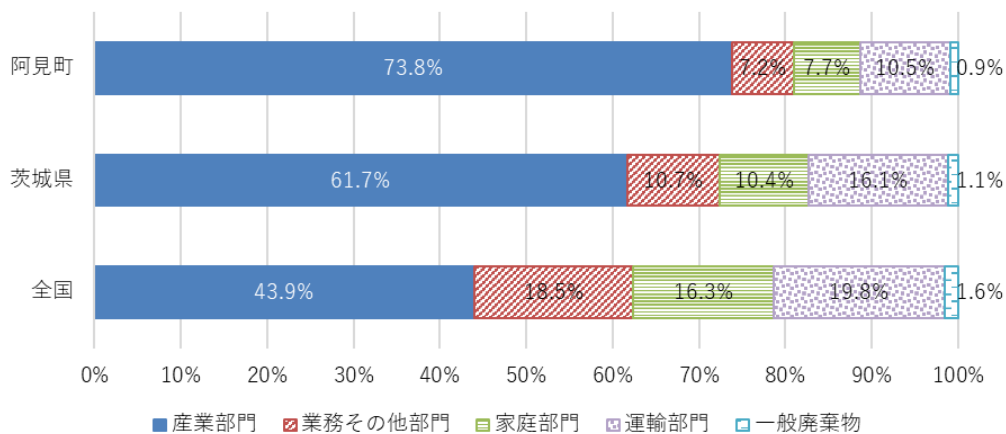
町内の不法投棄等新規発生件数につきましては、令和元年度が2件、令和2年度が5件、令和3年度が19件となっており、増加しております。

○ご質問

【現状分析】

二酸化炭素の排出量について、産業部門が70%以上を占めているのは、事業所がエネルギーを多く使っているからなのか、発電方法が二酸化炭素を多く出すのか、その相乗効果なのか。

8-2-1 エネルギー起源 CO₂排出量の部門別排出量の割合



出典) 部門別 CO₂ 排出量の現況推計(2019 年度)(環境省環境計画課)

○回答

「産業部門」は「製造業」「建設業・鉱業」「農林水産業」で構成され、産業部門の排出量のうち約98%を製造業が占めるため、製造業の算出方法についてお答えします。

◆製造業の算出方法

市区町村の CO₂排出量 = 都道府県の製造業炭素排出量 ÷ 都道府県の製造品出荷額等 × 市区町村の製造品出荷額等 × 44 ÷ 12

以上のことから、阿見町の CO₂排出量のうち産業部門が70%以上を占めているのは、町内事業所のエネルギー使用量や発電方法には起因しておらず、阿見町の製造品出荷額等が他市町村に比べて多いことが理由となっております。